



第 20 号 2020 年 7 月発行

かけはし

〒669-2321

兵庫県丹波篠山市黒岡 5 番地

TEL 079-552-1181 (代表)

FAX 079-552-5343 (代表)

◆新型コロナウイルス関連情報◆

当院では新型コロナウイルス感染の院内発生リスクを軽減し、患者さんに安心して受診していただくとともに職員の安全を守るために、「電話再診による処方箋の発行」「取引業者等の立ち入り制限」「入院患者さんへの原則面会禁止」などの取り組みを行っています。

また、2020 年 4 月 13 日（月）から、正面入口におきまして全ての来院者に対する「体温の検温」を実施しており、6 月 8 日（月）からは検温作業の更なる精度向上、迅速化を図るため「赤外線サーモグラフィカメラ」による検温を開始しました。検温の結果、体温が 37.5 度以上であった場合にはその場で問診を行い、発熱者外来の受診をご案内します。これに合わせて、ささやま医療センター入口の開錠時間を午前 7 時 30 分から午前 8 時に変更しております。



新型コロナウイルス感染拡大の影響により自宅で過ごす機会が増えると、ついつい運動不足になりがちです。特に高齢者にとっては「動かないこと（生活が不活発になること）」＝「フレイル（虚弱な状態）が進む原因」にもなります。

そこで、高齢者の皆さんが自宅でできる簡単な健康維持体操として丹波篠山市が作成したのが「いきいきデカボ体操」です。ぜひ取り組んでみてください。



<https://youtu.be/bJkxM0iJETE>

新型コロナウイルス感染症に対応する当院に対して、下記のとおり、一般市民や事業者の皆様から様々な物品をご寄贈いただきました。心温まるご支援をいただき、現場の医師や看護師をはじめ、職員一同、心より感謝申し上げます。





◆安心・安全な周産期医療の提供に向けて地域の壁を越えた「連携協定」について◆

ささやま医療センターでは、永年、分娩提供施設として丹波篠山地域の方々へ周産期医療を提供してきましたが、かねてより続いていた産科医の不足に伴い、安心かつ安全な周産期医療体制の構築に苦慮しており、2020年3月末をもって分娩を休止いたしました。

こうした問題は丹波篠山地域にとどまらず、兵庫県、あるいは日本全国における共通の問題であり、周産期医療を提供する各医療機関が率先してその対策を実行していく必要があります。今後地域における周産期医療を支え、安心かつ安全な周産期医療を提供していくためには、地域の医療機関が協力して「分娩機能の集約」「周産期医療機能の役割分担」「緊密で円滑な医療連携」を図り、人材を含む限られた医療資源を有効に活用していくことが重要になってきています。

そこでこの度、ささやま医療センターは以下の医療機関様と連携協定を締結することとなりました。

- 2月 1日(土) 済生会兵庫県病院(神戸市北区)
- 2月 3日(月) 三田市民病院(三田市)
- 2月10日(月) 神戸アドベンチスト病院(神戸市北区)
- 3月 1日(日) 丹波医療センター(丹波市)

ささやま医療センターで妊婦検診を受けている妊婦が各医療機関での分娩を希望した場合、希望された医療機関にて分娩および分娩前後の医療を提供。希望があれば、その後の産後ケアはささやま医療センターで実施することも可能です。その際は、両院の間で診療情報を互いに共有し合うことで、妊婦をはじめとした地域住民の皆様に安心かつ安全でストレスのない周産期医療を提供していきたいと考えています。



◆医療法人社団紀洋会との相互連携協定について◆

岡本病院(兵庫県丹波篠山市、院長:余田 洋右)を運営する医療法人社団紀洋会(兵庫県丹波篠山市、理事長:岡本のぶ子)と、兵庫医科大学 ささやま医療センター(兵庫県丹波篠山市、病院長:片山 覚)を運営する学校法人兵庫医科大学(兵庫県西宮市、理事長:太城 力良)は、丹波地域においてより質の高い医療・介護サービスを継続して提供するため、2020年4月1日付で相互連携協定を締結しました。

今後、丹波地域では人口減少や高齢化が進み、医療ニーズも減少していくことが予想されています。このような社会環境において、質の高い医療や介護を長期にわたって提供していくためには、従来のように「施設完結型」ではなく「地域完結型」の医療・介護を提供する仕組みを構築していくことが喫緊の課題となっています。

地域完結型の医療・介護をめざすには、地域の医療施設や介護施設が緊密な連携を図り、限られた医療・介護資源を効率的に活用することが必要です。さらに、未来にわたってこれらを継続して実行していくためにも、地域医療や介護を担う優秀な医療人の育成を併せて行っていく必要があります。

そこで、丹波地域における医療・介護の提供において、中心的な役割を果たしている医療法人社団紀洋会と学校法人兵庫医科大学が相互連携協定を締結することにより、丹波地域においてより質の高い医療・介護の実践をめざすこととなりました。



岡本病院
(医療法人社団紀洋会)

◆研修医・学生宿舎完成◆

ささやま医療センターは教育機関として、学生実習の受け入れを行っております。実習は長期間に渡ることもあり、その間は学生宿舎に宿泊し、実習を行います。

これまで使用していた学生宿舎は築40年を超え、老朽化も進んでいたため、新たに新宿舎を建て替えることとなりました。2020年4月に完成した新宿舎の名称は職員による公募が行われ、「ささやまみらい」となりました。

研修医や学生(医大生、リハビリ、看護)の利用を予定しており、1階には談話室を設け、地域の方々が利用できるコミュニティカフェ、住民との交流の場としての利用も予定しております。



次回発行予定 2020年10月